

編集後記

監修：宝彩有菜

編集長：チバ

副編集長：智、かっちゃん

編集スタッフ：トモ、Sunny、やんげ、ねぎ、アリガ

ふうすけ

宝彩日曜新聞を読んで何か卒業したいなあと思っていたある日、ワインをボトルで半分ほど飲んだところで、何気に酒を卒業しようと思ひました。翌朝、「酒は百薬の長、人間関係の潤滑油、酒は友達」と抵抗するマインドを説き伏せると瞬間に気持ちがスーとしました。10年間禁酒して、修行を開始して1年後に解禁して2年間楽しく飲んで、この春めでたく卒業しました。もう十分飲んだなあ、ありがとう我が友よ、感謝、感謝です。

チバ

修行を始めてめっきり本を読まなくなっていたけれど、最近、図書館で小説と世界史の本を借りて次々に読んでいます。おかげで通勤電車の時間が楽しくて。こんなに本を読むのは子供の頃以来。外で遊ぶのと同じくらい本を読むのが好きで、図書館で毎週大量に借りてました。『ストロベリー幸せ研究所』は、宝彩先生はもちろん、その頃好きだった物語へのオマージュとも言えます。その世界というか舞台設定が。人生はつながっているなあ。

智

読書感想文もテーマのある作文も、書くことは好きだと思っていました。ところが、宝彩BBマガジンに携わるなかで、驚愕の事実が発覚します。私、書いてない。書く場があるというのに、書いてない。「好き」と「書く」は無関係？ そもそも好きではなかったのかも？ などとあれこれ考え始めたので、ストップ。ただ言えるのは、宝彩BBマガジンは裏方の編集作業もとても楽しいということです。今号もありがとうございました。

かっちゃん

自分に合った枕を探して、何種類か試してみました。左向きに寝ると寝やすくても仰向けや右向きに寝るとしっくりこないときがありました。よく考えれば、枕に原因があるのではなく、左半身と右半身との左右差から来ているようです。また、その時の体調によって体は睡眠中に気持ちのいい方向に動いていきます。試しに、タオルケットとバスタオルを重ねた枕にすると、どの向きにも寝やすくて、このMy枕に落ち着きました。

トモ

通信でペン字を習い始めて1年が経ちました。臨書といって先生のお手本に忠実に書く練習が続けています。お手本の先生の文字はとても美しくそれを真似て書く中で、漢字や、かなのひとつひとつの文字自体の造形の美しさにハッとした瞬間がありました。それは、今までにない世界に一歩足を踏み入れたような不思議な感覚でした。どの道を行ってもその先にある特別な何かに触れられることってあるのでしょうか？ 今後も楽しみです。

宝彩有菜

ここ1、2年でスマホの性能が飛躍的に向上し、情報革命がさらに進展しているようです。昔は、記憶力が良い人、外国語が出来る人が頭の良い人と思われていましたが、それはいずれ小さな端末に全部任せられることができるようになるかもしれません。すると頭の良い人の基準も変わってくることでしょう。本もスマホでも読めるようになったからか、電子書籍が伸びています。なお、「宝彩BBマガジン」も、お陰様で全巻電子書籍化完了です。

やんげ

最近、職場の中で異動がありました。今までとは少し違う仕事で戸惑っており、今もまだ慣れない日々が続いています。社会人とは、常に自分を振り返り、駄目なところは改善すべき…などと言われ、私のアタマもすっかりその気になっていました。しかし、自分への駄目出しは本当に辛いものですね。人からの承認欲を追い求めて、自分を追い込み、苦しくなっている自分が居ました。でも、そんな自分に気付いた時、何か笑えました。

Sunny

最近、私が作ったご飯を家族に「美味しい!」と言ってもらえることが格段に多くなりました。ワンパターンのとも言えるシンプルなメニューは相変わらずで何の変哲もないのですが。このところ家族のそれぞれの生活の変化からお弁当がなくなるなどして、私の手料理ご飯の頻度が減り、それで美味しく感じてもらえているのかもしれませんが。私が奏でるおふくろの味、小さな変化に気づいたことで大切にしようと思うようになったこの頃です。



Illustration by ねぎ